

THE NEWS LETTER

2013 Winter

Vol. 28

日本歯科審美学会
Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

責任ある学会となるべく法人組織へ

日本歯科審美学会副会長 齊木好太郎



日本歯科審美学会会員皆様方におかれましては、日頃より学会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本学会は歯学研究者・教育関係者、開業臨床医、企業研究者、歯科衛生士、歯科技工士などの種々な職種の方々により構成された学際的で臨床的色合いの濃い特徴ある学会として活動を行っているところです。従い

まして、各職種の専門分野が横断的に研究、治療、発表をおこない、それらの結集が「歯科審美」の構築、確立と共に社会への貢献に繋がるものと考えております。

そこで、千田 彰会長が述べられているように「モザイクは一つひとつのピースの色と形が異なり、決して「混ざる」ことはありません。しかしすべてのピースを積み上げてすばらしい芸術が生まれるのです。互いに尊重し、理解を重ねてピース夫々が主張し、責任を果たせば文字通りモザイク模様の美しい画像が生まれてきます。」が大変重要なことかと思えます。その意味でも、それぞれのお立場での責任有るピースとなり今後とも活躍されんことをお願い申し上げる次第です。

さて、本学会も設立以来「任意団体」として活動をおこなってまいりましたが、今年度の評議員会、総会にてご承認を頂きましたように、責任有る組織となるべく「法人(公益性)」への移行を見据えた「法人化委員会」を設置して検討を進めているところです。

この法人化は、組織として社会の中では大きな流れであり、本学会としてもその移行をすることにより、個人が代表の人格の無い組織から組織として人格を持ち社会から認められた健全で責任有る団体になることを意味致します。具体的には、学会の根幹をなす会則から定款に変更をおこない、その内容に関しては組織的手続きを踏んでお諮り致しますので何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

このように、学会の会則に謳われております「歯科審美学の基礎並びに臨床に関する研究の発展を期し、併せて審美歯科の普及を図ることを目的とする。」のように、歯科界での歯科審美の確立はもとより、責任有る学会として歯科審美を広く社会への普及を図ってまいりますので会員皆様方にもご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

第25回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

歯科審美臨床と学術のハーモニー

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

生体機能再生・再建学講座歯科保存修復学分野 大会長 吉山昌宏



寒冷の候、日だまりの暖かさがひときわうれしく感じられるこのごろです。日本歯科審美学会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。平成26年11月22日(土)・23日(日)の両日、香川県高松市の高松国際ホテルにおいて、第25回日本歯科審美学会学術大会・総会を開催主管させていただ

くことになりました。今回の大会では「歯科審美 臨床と学術のハーモニー」をメインテーマに、国民・患者の誰もが願う“辛くなく、綺麗で、確かな治療”を具現化する歯科審美の臨床、それを支える学術的根拠の和合について、参加者の皆様が語りあい、それぞれの立場から見つめ直す機会となれば幸いです。まず特別講演として、「Posterior restoration materials: Ceramics or resin?」をテーマに、Dr. Ricardo Carvalho(ブリティッシュコロンビア大学、カナダ)を講師として招聘いたします。招待講演としてAACDおよびKACDの会長をお招きし、ご講演いただきます。その他、多数の講演、セッションならびに会員によるポスター発表を予定しております。さらに、皆様が望む情報やニーズを少しでも多くご提供できるよう、大会2日間を通し、多くの企業から協賛を得ました展示場を設けておりますので、お立ち寄り下さい。そして初日の夕刻には、会員、



高松国際ホテル

参加者、講演者各位の親睦や交流を深めていただくため、同ホテルにて懇親会を開催致しますので、ぜひともお誘いあわせの上、ご参加ください。

大会終了後の11月24日(月・祝)には風光明媚な香川・高松をお楽しみいただくためエクスカーションを予定しており、ゴルフ、うどんツアーなどのエクスカーションを予定しています。

詳細につきましては、今後「歯科審美」による会報や大会ホームページによってお知らせいたします。

皆様の御来臨をスタッフ一同心よりお待ちしております。



2013年10月9日にカナダ・バンクーバーのThe Westin Bayshoreで再会した吉山昌宏大会長(右側)、2014年22日に第25回日本歯科審美学会で特別講演を行う予定のDr. Ricardo Carvalho(プリティッシュコロンビア大学歯学部歯科理工学教授)(中央)、西谷佳浩実行委員長(左側)



西谷佳浩実行委員長



高橋 圭準備委員長

学術大会報告

第24回日本歯科審美学会学術大会の開催報告

日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 大会長 奈良陽一郎

日本歯科審美学会会員の皆様、如何お過ごしでいらっしゃいますでしょうか。今年も残すところ1か月を切り、街角には師走の慌ただしさを感じることができます。

さて、日本歯科審美学会から第24回学術大会の主管を仰せつかり、7月20日(土)・21日(日)の両日、東京都千代田区にございます日本歯科大学生命歯学部にて開会を迎えたのが、つい先日のことのように思い出されます。幸い、全国から655名のご参加を得て、つつがなく幕を閉じることが叶いました。

今回の学術大会では、「歯科審美 調和の医療」をメインテーマとして、一般発表46演題(口頭発表6題・ポスター発表40題)をはじめ、吉本信也 昭和大学医学部教授による特別講演、Dr. Jack Ringer AACD会長による招待講演、千田 彰 学会長による会長講演、さらには矯正・保存・補綴領域の教育講演を開催させていただきました。また、三位一体の歯科審美医療、ハイクオリティの口腔インプラント、米国Esthetic Dentistry、ホワイティング、CAD/CAMテクノロジー応用の審美修復などをテーマとしたシンポジウム、くわえて歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士それぞれを対象とするセッションを企画いたしました。それぞれの会場では、今後の方向性、新たなる医療の在り方、最新の研究成果に係わるご発表と熱きディスカッションがなされておりました。

さらに、これらプログラムには、本学会の認定医・認定士およびホワイティングコーディネーター資格の新規・更新申請に有効なプログラムを複数設定し、会員や参加者に活用していただきました。また、一般発表のポスター発表では、学会の表彰



制度規則に則った優秀発表賞を見据え、発表演者との間に活発なご討議が行われておりました。一方、大会2日間を通じた4つのランチョンセミナーと36社による企業展示では、望んでおられた情報や期待に応える最新器材について知ることができた参加者の笑顔で溢れておりました。くわえて、第一日目の夕刻に催した会員懇親会では、美味しいお料理を召し上がっていただきながら、思い思いの意見交換や親交を深めていただくことができたようです。

大会第二日目の午後には、学会からの依頼を受け、一般の方々も参加できる市民公開講座を併催しました。講演者には、ニューヨークやパリのコレクションにおいてメゾン・メークチーフを務め、多くの女優・タレントから高い評価を得ている資生堂ビューティートップスペシャリストの岡元美也子さんをお招きし、近隣にお住いの方々を含め170余名の聴講者にご満足いただけましたこと 幸せに思っております。

開催主管の取りまとめ役といたしましては、ご発表なされた演者各位、ご来臨くださった参加者、加えて各種企画にご賛同いただき、協賛を申し出てくださった多くの企業・関係者各位に、心からのお礼を申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝と益々のご活躍ご発展、あわせて素晴らしい新年をお迎えになられますようお祈り申し上げ、ご報告とさせていただきます。



口頭発表に聴き入る参加者



170余名が受講した市民公開講座



和やかな会員懇親会の開宴

第26回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 大会長 佐藤 亨



2015年11月22日(日)・23日(月・祝)の両日、東京歯科大学水道橋校舎新館(東京都・千代田区)にて開催される、第26回日本歯科審美学会学術大会長を引き受けさせていただくことになりました。私が主宰しております東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座は、本学会とも縁の深い教室であり、本学会創設者の

ひとりであります初代会長 羽賀通夫先生が開設されました。当時は、事務局も当教室にあり、このたび学術大会をお引き受けするにあたり、その頃のことを思い起こしますと感慨深いものがあります。

皆様のご存じのように、東京歯科大学のメインキャンパスは、2013年9月に東京・水道橋橋に戻ってまいりました。そこで本大会は、新しくなりました血脇記念ホール、東京歯科大学水道橋校舎新館等を会場とする予定です。

これまでの学会開催会場と比較してやや手狭な会場ではありますが、交通の便の良い東京の中心地での開催ということでご容赦ください。なお、プログラムは鋭意編成中で、詳細は後日、学会誌・ホームページ等でお知らせします。まだまだ先のことではありますが、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加ください。



東京歯科大学水道橋校舎新館

国際歯科審美学会報告

第8回 IFED大会 (ミュンヘン) 参加報告

大阪大学大学院歯学研究科 中村隆志

2013年の9月18-21日にミュンヘン(ドイツ)で開催された第8回IFED大会に出席しましたので報告申し上げます。IFED (International Federation of Esthetic Dentistry)とは、1994年にアメリカ(AAED)、ヨーロッパ(EAED)、そして日本(JAED)の3つの学会が集まって設立した歯科審美学会の連盟です。現会長は、Dr. Winkler (英国)であり、次期会長には千田 彰JAED会長が就任されます。

IFED大会は、原則として2年に一度開催されます。今回は、ドイツの審美学会(DGZ)がホストとなり、Dr.Marquardtが大会長をつとめました。会場は、ミュンヘンフィルのホームグラウンドであるGasteig文化センターが使用されました。

会期は4日間ですが、初日はプレセッションとして企業がスポンサーになり、インプラント、CAD/CAMなどのワークショップが開催されました。2日目から、開会式に引き続き、招待演者



図1 Winkler IFED会長の挨拶(開会式)



図2 千田会長と招待演者の六人部先生

による7つの一般セッションと2つのトリートメントセッションが行われました。一般セッションは、天然歯支台とインプラント支台、直接法修復と間接法修復、従来型印象とデジタル印象といったように2名の演者が対応するテーマについて講演を行う形式で進められました。一方、トリートメントセッションは、与えられた症例に対する治療方針についてデベート形式で議論が行われました。日本から、六人部慶彦先生(大阪市)が一般セッションで、山崎長郎先生がトリートメントセッションでそれぞれ講演されました。コンペティション形式のポスターセッションも開催され、木林博之先生(京都府)が見事1等(副賞は2015年ケープタウン大会招待)を獲得されました。

開催地がミュンヘンということもあり、BMW本社ショールームを貸し切った懇親会やオクトーバーフェストへの団体参加といった催しも多くの参加者で賑わっていました。2017年の大会開催地には日本(名古屋)が立候補しています。応援よろしくお願ひ申し上げます。

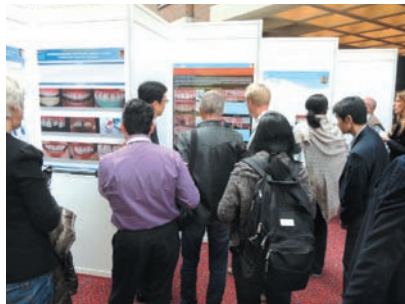


図3 質疑応答中の木林先生



図4 団体で参加したオクトーバーフェスト

セミナー報告

第1回セミナー開催報告

大阪大学大学院歯学研究科 若林一道

本学会では、歯科審美を「顎口腔における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、患者様の幸福に貢献する歯科医療」と定義し、総合的な審美歯科医療の質の向上を目的として、学術大会ならびに研修活動(各種セミナー)を開催しています。そして、デジタルデンティストリーイン歯科審美をテーマに2013年度の第1回セミナーを6月9日(日)に福岡ファッションビル8階Cホールにて開催し、92名もの方々にご参加いただきました。

セミナーは、まず千田 彰会長が学会の活動について、次いで佐藤博信セミナー委員長がセミナー活動について講演されました。その後、本セミナーのメインプログラムとして、「歯科審美にCAD/CAMを」というテーマで川口歯科医院院長の川口 孝先生にご講演いただきました。川口先生はISCD (International Society of Computerized Dentistry)の公認インストラクター、JSCAD (Japanese Society of Computer Aided Dentistry)九州の副支部長を務めておられます。講演は3時間もの長時間でありましたが、CAD/CAMの基礎、CERECシステムを用いた臨床について余すところなくご講演いただきました。講演の中で私が一番印象に残っているのは、CAD/CAMによるインレー修復で、レジン充填を併用しながら、できるだけシンプルな形成を行うことで、CAD/CAMシステムの能力を最大限に発揮するという内容です。臨床的には手間もかかり、また異種の材料が混在するという状況ですが、CAD/CAMシステムの能力および限界を適切に示され、またそれをクリアするための工夫が行われている川口先生の確実な治療は、デジタルデンティストリーのさらなる発展、普及、社会的認知に益々ご貢献いただけるものと確信しております。また、お昼にはCERECのデモ等があり、最新のシステムについてご紹介いただきました。

セミナー委員会としては、今後も多くの歯科医療関係者の方々に御参加いただける企画を立案していく所存ですので、御協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



セミナー報告

東京都勤務・田嶋美樹

会員のみなさまこんにちは。多くのホワイトニングコーディネーターが誕生している現在、資格を習得された歯科衛生士のみなさまには普段の臨床でコーディネーターの役割を果たして活躍されていることと思います。

去る平成25年9月8日(日)、東京・秋葉原でホワイトニングコーディネーター研修試験と同会場にて第4回ホワイトニングアドバンスセミナーが開催されました。前半は山羽京子先生から『ホワイトニングコーディネーターとしてこれからの審美歯科を考える』として基本的な項目を再確認するべくデータやアンケートをたくさん組み込み、大学病院に勤務されている山羽先生の視点で分かりやすく講義してくださいました。自身は『ホワイトニングを成功に導くために』として臨床での取り組みを基本に症例写真ごとに患者さんの要望や気持ちの変化を具体的に考えその対処法を説明するといったコミュニケーションやカウンセリングのアドバンス的な内容でお話させていただきました。講演内容のメモをとる姿が多く見られ、熱心さが伺えました。

講演後のアンケートでは、とても参考になり、臨床へのヒントになったとの嬉しい声もたくさんありましたが、話すスピードが早い、テキストが不十分などの確かな声もあり、反省が残る点もありましたが、私自身、受講生の方からたくさんの刺激を受け、明日からの臨床に役立てたいと強く思いました。



優秀発表賞受賞者のご紹介

デンツプライ賞を受賞して

フォーラムデンタルクリニック 坪田健嗣



平成25年度日本歯科審美学会優秀発表賞(デンツプライ賞)を受賞し、たいへん光栄です。受賞の対象は、昨年、札幌で開催されました学術大会でのポスター発表「BTA(Biological Tissue Adaptation)テクニックを用いたラミネートベニアにより歯並びを整えた症例」です。長年、臨床におけ

る研究テーマとして行ってきた「BTAテクニック」の発表に対し、ご評価頂けたことはたいへん嬉しい限りであり、サポートして頂いた先生方に深く感謝申し上げます。

BTAテクニックは、矯正治療や骨削除を伴う歯冠延長手術を行わずに歯肉ラインを整える補綴的手法として、筆者が10年以上前に開発したテクニックです。歯肉ラインを整えるために、歯肉切除を行った後に、その切除した歯肉ラインをフィニッシュラインとし、オーバーハングのマージン形態をしたラミネートベニアやクラウンを装着します。オーバーハングと聞いただけで、拒絶反応を示す方も多いと思いますが、決して補綴学的、歯周病的、病理学的な見地から逸脱したものではないと考えています。

BTAテクニックにご興味のある方は、クリニックのホームページや下記の文献をご覧いただければ幸いです。

【参考文献】坪田健嗣：歯肉ラインを整える審美補綴法(BTA)テクニックの開発、日本補綴歯科学会誌、2(1):26-35,2010.



優秀発表賞受賞者のご紹介

優秀奨励論文賞を受賞して

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔学分野 渡部平馬



この度、平成25年度優秀奨励論文賞を頂き大変光栄に思います。今回の受賞研究は「ファイバーポストを併用した直接法レジン支台築造の破折強度と破折様相－繰り返し荷重負荷の影響－」の題目で発表させて頂きました。

本学ではCERECシステム(SIRON-A)を中心としたCAD/CAMによるオールセラミック修復についての研究を行っており、本学会でもこれまで多くの研究報告をさせて頂きました。CAD/CAMシステムによって単一材料から製作されるオールセラミック修復物では、支台歯の色調がある程度反映されることから、支台歯にも歯冠色材料を使用することでより高い審美性が得られます。近年では接着システムの進歩により、残存歯質が比較的少ない場合においても、歯質に弾性係数が近似したファイバーポストを併用することで、歯冠色材料による支台築造が可能となっています。本研究ではこれらの背景に基づき、国産のファイバーポスト2製品を、残存歯質が十分でない歯の直接法レジン支台築造に併用した場合の破折強度について検討しました。

その結果、両製品とも接着直後に咀嚼を模した繰り返し荷重を負荷した場合、接着後24時間静置した場合と比較して低い破折強度を示しました。したがって、十分な残存歯質が確保できない場合は、ファイバーポストを併用した直接法レジン支台築造を行った直後は咬合負荷の影響を考慮すべきことが示唆されました。我々の日常臨床においては、支台築造当日にテンポラリークラウンを装着する場合や、CERECシステムのような支台築造と同日に最終修復物の装着が可能な治療を行う場合などにこのような状況が想定されます。本研究の結果から、このような症例では残存歯質量に応じた適切な支台築造法や、築造後の重合時間の確保をあらかじめ検討することにより、臨床でのトラブルを回避できることも示唆されます。今後は、直接法レジン支台築造の臨床成績について検討していく所存です。

最後になりましたが、ご指導頂きました興地隆史教授、福島正義教授、風間龍之輔先生、浅井哲也先生、石崎裕子先生、中村輝保先生および金谷史夫先生に、心より感謝申し上げます。

委員会報告

歯科審美編集委員会

会員皆様のご協力のもと、お陰様で「歯科審美」第26巻第1号を9月に発行することができました。この号では、原著2編、臨床・症例報告2編、そして特集として2編、合計6編の論文を掲載しております。日常の臨床で審美修復を行う際、いずれの論文も参考になる点が多いと思いますので、もう一度お読みいただければ幸いです。

次号の第26巻第2号(平成26年3月発行予定)には5編のご投稿を戴きました。11名の編集委員で投稿論文を分担して査読を進めており、12月6日に編集会議を開催する予定です。いつものことながら、編集会議では各査読結果をかなり詳細に検討しますので、その厳しい査読結果に基づいた修正を著者の先生方に短期間をお願いしております。大変なご負担かと思いますが、読者にとって明解な論文掲載を目指しておりますので、ご理解・ご協力のほどをお願いしたいと存じます。また、次号には審美性を備えたいいわゆる「ノンクラスプデンチャー」に関する特集を企画しておりますので、是非ご期待いただきたいと思います。

第26巻第1号に投稿規定改訂版が掲載されております。この改訂された投稿規定は第26巻第2号への論文投稿から適用される予定でした。しかし、第26巻第2号にご投稿いただいた論文のほとんどは、旧投稿規定に基づく郵送投稿でした。ちょうど移行期ですので今回は仕方ないと思いますが、これからはすべてメール投稿となりますので、第27巻第1号にご投稿を予定されている方は改訂された投稿規定をよくお読みいただきたいと思います。この新規投稿システムは論文投稿時の利便性と論文査読の効率化を図ることを目的としておりますのでよろしくお願いたします。

以前にも述べましたが、「歯科審美」では原著論文のみならず、いわゆる「審美歯科治療」に関する症例報告・臨床のヒント等も重視していきたいと思っておりますので、会員の皆様方からさらに積極的なご投稿をお待ちしております。(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会(JAED)は、American Academy of Cosmetic Dentistry(AACD)および韓国歯科審美学会(KAED)と姉妹協定を結び、演者や論文の交流をすすめています。7月のJAED東京大会(日本歯科大)には、両学会の会長に参加いただき、AACD Ringer会長に講演いただきました。また、11月にソウルで開催されたKAED秋期大会には、日本の学会を代表して大槻昌幸先生(東京医科歯科大)を演者として派遣しました。KAEDの雑誌には、田上直美先生(長崎大)の症例報告が掲載さ

れました。

JAEDが組織加入しているIFED (International Federation of Esthetic Dentistry) の第8回大会が9月にミュンヘンで開催されました。次回の2015年はケープタウン(南アフリカ)での開催が決まっています。その次の2017年の大会開催には、日本(名古屋)とトルコ(イスタンブール)が立候補しています。開催地は、2014年2月のIFED総会(シカゴ)において、プレゼンテーションの後に投票で決定されます。総会では、国際渉外委員が動画を用いてプレゼンテーションを行う予定です。

例年、AACD年次大会には演者を派遣しており、2014年5月のオランダ大会では、佐藤 亨先生(東京歯科大)と富士谷盛興先生(愛知学院大)に講演いただく予定です。オランダ大会では日本の会員の先生方に登録料の特別割引があります。詳細は、JAEDホームページをご覧ください。(委員長 中村隆志)



JAED東京大会で講演したAACD Ringer会長

IFEDミュンヘン大会懇親会にて、IFED Winkler会長、AACD Bernstein元会長と千田会長

認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査および新規申請者については書類審査に加えて臨床例をプレゼンテーションいただき、その審査を行っています。一般市民に理解される認定医として、審査は厳格なものと考えております。もちろん、認定取得後のフォローアップに関しても、関連委員会との連携を強化することで進める予定でおります。

以下に、平成25年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会の実施状況

1. 平成25年6月7日 平成25年度 第1回認定医・認定士合同審議会
 - 1) 第32期新規認定医審査：書類審査4名合格(1名保留)
 - 2) 第14期新規認定士審査：書類審査2名(全員)合格
 - 3) 認定士更新書類審査：書類審査2名(全員)合格
 - 4) 認定士更新書類審査：書類審査4名(全員)合格
2. 平成25年7月26日 平成25年度 第2回認定医・認定士合同審議会

- 1) 第34期新規認定医審査：口頭試問審査4名(全員)合格
- 2) 第14期新規認定士審査：口頭試問審査2名(全員)合格

今後の予定について

- ・第35期認定医試験書類申請受付：平成25年10月31日(木)(必着)
- ・書類審査結果通知：平成25年11月28日(木)
- ・症例提示および口頭試問：平成26年1月30日(木)

取得の資格を有しておられる会員におかれましては、是非とも書類を整えられるとともに、症例につきましては準備をされますようお願い申し上げます。認定医という資格は、厳格な審査の結果によって授与されるものであり、その観点からこの資格を取得することには大きな意義があります。

なお、申請に当たりましては本学会ホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。今後ともよろしくようお願い申し上げます。

(委員長 宮崎真至)

.....

セミナー統轄部会・セミナー委員会

私もセミナー委員会のセミナー活動を行っていくとともに、委員長である佐藤がセミナー統轄部会長として、セミナー全体の連携・統括を図りながら、セミナー活動自体の在り方についても千田 彰会長等関連理事の先生方と協議をしながら、活動を行っております。とくにセミナーは、認定医・認定士の取得・更新に配慮した活動に少しシフトさせていくという方向性で本年度の活動を進めているところです。

本年度は「デジタルデンティストリーイン歯科審美」をテーマの一つとして掲げており、12月8日(日)には「審美歯科ウインターフェスティバル東京」という冠をつけて第2回セミナーをセミナー委員会、技工士セミナー委員会、デンタルカラーコーディネーター委員会、ホワイトニングコーディネーター委員会共催のセミナーを開催予定で、ちょうど、このニュースレター届いた頃には終了になるかと思えます。カラーアーティスト須恵ありさ先生をはじめ、加藤尚則先生、小池軍平先生、北原信也と著名な演者によるセミナーが開催できることをうれしく思っています。

引き続き、第3回セミナーを「審美歯科ウインターフェスティバル京都」をこちらも技工士セミナー委員会、デンタルカラーコーディネーター委員会、ホワイトニングコーディネーター委員会共催セミナーとして平成26年2月9日(日)開催予定です。講師には増田長次郎先生、風間龍之輔先生をお願いしています。お二人ともデジタルデンティストリーの分野で著名な活躍をされている先生方です。こちらはチラシを同封できる予定ですので、そちらを参考にされ、参加されてください。認定医・認定士更

新のセミナー対象となりますので、よろしく申し上げます。

(委員長 佐藤博信)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

7月に行われた第24回日本歯科審美学会では、ホワイトニングコーディネーターアドバンスコースプログラムを開催させていただき、大会長の奈良陽一郎先生をはじめ、執行部の皆様には心より感謝申し上げます。シンポジウム4「ホワイトニングから始める持続的口腔管理」では、椿 知之先生、佐藤祥子先生、鍛冶田忠彦先生に、臨床セッション「もう一度確認しよう：ホワイトニングの安全性と臨床手順」では、山口麻衣先生に御講演頂きました。どちらの会場にも多くの方々に集まっていただき、ホワイトニングの注目度の高さを改めて感じる事ができました。通常のセミナーでは歯科衛生士を対象としていますが、歯科医師や歯科技工士に対する関係性や知識などを勉強させて頂く良い機会になりました。

一方では、9月8日(日)に東京・秋葉原コンベンションホールにて第29回ホワイトニングコーディネーター講習会および第4回ホワイトニングアドバンスセミナーを開催しました。今回も講習会307人、アドバンスセミナー79人が受講し、相変わらずの盛況ぶりでした。来年2月9日(日)にはメルパルク京都で今期最後のホワイトニングコーディネーター講習会とアドバンスセミナーを開催いたします。

最後までホワイトニングコーディネーター委員会への要望に応えるよう講習会運営に携わりたいと考えております。さらに今後は、更新の件、会費の件と、問題は沢山ありますが、会員の皆様と一緒に考えて、一つ一つ克服し、最高のホワイトニングコーディネーター講習会さらには審美学会にしていく所存です。

(幹事 守田宏子)



MTM研修会委員会

ニュースレターvol.27にてお知らせいたしました、学会ホームページ「MTM治療に関するQ&A集」は閲覧頂けたでしょうか。

限られたスペースでの情報提供ですので、不足している点などがあるかもしれません。今後会員の皆様のご意見を反映しながら、治療に役立つようなコンテンツにバージョンアップしていきたいと考えております。ご意見ご要望をお寄せくださいますよう、よろしく願いいたします。

(委員長 三浦廣行)

歯科衛生士部門

【各種セミナー、日本歯科審美学会学術大会参加への誘い】

平成25年12月8日(日)東京秋葉原コンベンションホールにて第2回セミナー「デンタルデンティストリーイン歯科審美—デンタルカラーを再考する—」が開催されます。セミナー委員会、技工士セミナー委員会、デンタルカラーコーディネーター委員会、ホワイトニングコーディネーター委員会の4委員会の合同企画です。認定士取得・更新のための講習会、及びホワイトニングコーディネーター資格更新講習会でもあります。

平成26年2月9日(日)は、メルパルク京都にて第30回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験、第5回ホワイトニングアドバンスセミナーが開催されます。

また、平成26年11月22日(土)・23日(日)香川県高松市高松国際ホテルにおいて第25回日本歯科審美学会学術大会・総会が開催されます。「歯科審美 臨床と学術のハーモニー」というメインテーマでシンポジウム、歯科衛生士セッション、ランチョンセミナー、企業展示、懇親会など予定されています。

セミナーや学会学術大会に参加すれば参加ポイントや認定士資格更新、ホワイトニングコーディネーター資格更新のポイントが取得出来ます。セミナーや学会学術大会にぜひご参加ください。仕事上での悩み、不安、疑問の解決ヒントがきっと見つかることでしょう。

(委員 山羽京子)

表彰委員会

本委員会では、会則第6章第26条に明記された「表彰(学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞)を行う。」に係わる事業を担っております。そこで本稿では、今年度の表彰について報告します。

まず、本会における優れた教育・研究および臨床の業績、会務運営により、本会の発展に著しい貢献のあった者に授与され

る学会功労賞につきましては、編集委員会・会則検討委員会・表彰委員会における各委員長、学会顧問、さらにはAsian academy of aesthetic dentistry日本代表をお務めいただいた長岡英一先生、ならびに本会設立時の会員であり、その後、常任理事、副会長、監事を歴任くださった松尾 通先生が推戴承認され、本年度の総会において授与式が執り行われました。

また優秀論文賞では、歯科審美学研究の方法や目的に新規性があり、十分な理論的背景を備え、審美歯科医療上の意義が明確であるもの(優秀奨励論文賞)について審査選考が行われ、新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野の渡部平馬先生が受賞者となりました。

さらに、昨年7月20日(金)～22日(日)に開催された第23回日本歯科審美学会学術大会・第12回アジア歯科審美学会のポスター発表演題を選考対象とする優秀発表賞には、フォーラムデンタルクリニックの坪田健嗣先生が受賞されました。

“表彰”とは、受賞なさる側・これを司る側双方にとって意義あるものであると同時に、これらの成果は国民・患者への福音と成りえます。本委員会では、会員各位からの各賞に対する推薦・応募を心からお待ちしております。

(委員長 奈良陽一郎)

.....

ホームページ・ニュースレター委員会

ホームページ・ニュースレター委員会は歯科審美編集委員会とともに広報・編集部会を構成し、本学会の広報活動を行っています。年2回発行される機関紙「歯科審美」と連携し、同じく年2回発行のニュースレター、ならびにホームページによって、密度の高い歯科審美の広報活動を行ってゆきたいと考えています。

お読みいただいているニュースレターは橋場千織先生主導のもと、今期も2巻を発行いたしました。会員ならびに関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます。なおニュースレターの発送は、前期同様会員ならびに更新手続きを終了されているホワイトニングコーディネーターの方々を対象としておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学会ホームページでは学会に関連した情報をご提供しております。できるだけ最新の情報をアップするよう心がけておりますが、さらなる内容の充実のためにも、今後とも会員の皆様の御指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。また会員各自の情報や各種学術大会・セミナーの参加情報が表示されますので、ぜひご活用いただくとともに、変更等が生じた場合にはお早めの手続きをお願いいたします。

(委員長 山本一世)

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル別館9F
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>

クラレノリタケデンタル株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>

3M ESPE

スリーエムヘルスケア株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川16-7-29
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>



デンツプライIH株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
麻布偕成ビル5F
Tel: 03-5575-5205
<http://www.dentsplyimplants.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15

Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
<http://panasonic.co.jp/hcc/phc/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>



プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロンジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

株式会社SCIZ

Esthefine Jet Set-4

エステファイン Jet Set-4



長期プロビジョナルレストレーションを考慮し、
耐久性、耐摩耗性、審美性に優れた即時重合レジン



修復部位: 1112 ミディアム、ライトインサイザルによる2層構造テクニック
写真提供: 原宿デンタルオフィス 山崎 長郎 先生

豊富なカラー
バリエーション

エステティックカラー: 4色



基本歯冠色: 6色

特殊色: 2色



コストパフォーマンスを追求

パウダー リキッド

45g ボトル	¥2,500	118mL ボトル	¥2,900
100g ボトル	¥3,100	236mL ボトル	¥3,550
[New!] 250g ボトル	¥5,900		
454g ボトル	¥8,500		

キット

内容 パウダー:45gボトル×6 リキッド:118mLボトル×1 スポイト×1

■ プロフェッショナルカラーセット

(ライト×2、ミディアム×2、ダーク×1、ライトインサイザル×1)

■ 基本歯冠色セット2 (A1×2、A2×3、A3.5×1) 各¥8,500

お得なトライアルセット新発売

内容 パウダー:100g×1本 リキッド:236mLボトル×1 スポイト×1
※シェードは、A2とダーク(A3相当)の2種類です。 各¥5,900

製造元: ラングデンタル社(アメリカ合衆国) (Lang Dental Manufacturing Co., Inc.)
[密着型原機] 歯科材料3 歯床材料 歯科汎用アクリル系レジン(70916010) 認証番号:224AG8ZX00077000号

製造販売元: **ペントロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 5F・6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



カタナCAD/CAM システムの新提案

カタナ カラード ジルコニアディスク
(ブロック)はもちろんのこと、
ワックスの切削も可能です。



歯科技工室設置型
コンピュータ支援設計・製造ユニット

DWX-50 powered by Imagine. Roland®

- 販売名 歯科用CAD/CAMマシン DWX-50
- 医療機器届出番号 22B3X10006000020
- 医療機器の分類 一般医療機器(クラスI)
- 製造販売 ローランド ディージー株式会社
静岡県浜松市北区新都田1-1-3



歯科切削加工用セラミックス
ノリタケ カタナ ジルコニア
●医療機器認証番号 223AFBZX00185000
●管理医療機器(クラスII)
●製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社
新潟県胎内市倉敷町2-28

歯科用キャスト用ワックス
ノリタケ カタナ ワックス
●医療機器届出番号 23B1X10001C7015
●一般医療機器(クラスI)
●製造販売 山八歯材工業株式会社
愛知県蒲郡市西浦町大知橋54-1

発売 **株式会社モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／千田 彰

編集／日本歯科審美学会

ホームページ・ニュースレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/